

金賞14銘柄

県産酒金賞銘柄と蔵元

金水晶	金水晶酒造店(福島市)
陣屋	有賀醸造(白河市)
千駒大吟醸	千駒酒造(白河市)
あぶくま	玄葉本店(田村市)
藤乃井	佐藤酒造店(郡山市)
東豊国	豊国酒造(古殿町)
人気一	人気酒造(二本松市)
奥の松	東日本酒造協業組合(二本松市)
会州一	山口(会津若松市)
会津吉の川	吉の川酒造店(喜多方市)
会津ほまれ	ほまれ酒造(喜多方市)
開当男山	渡部謙一・開当男山酒造(南会津町)
会津男山回	男山酒造店(会津美里町)
萬代芳	白井酒造店(会津美里町)

(発表順)

酒類総合研究所(広島県)は24日、2022酒造年度(22年7月〜23年6月)の日本酒の出来栄を競う全国新酒鑑評会の審査結果を発表した。本県は14銘柄で金賞を獲得したが、都道府県別の金賞受賞銘柄数でトップを逃し、10回連続の「日本一」はならなかった。最も多かったのは山形県の20銘柄。次いで兵庫県の19銘柄、長野県の16銘柄、新潟県の15銘柄で、本県は5番目だった。

全国から818点の出品があり、入賞394点(本県の28点を含む)の中から最終審査の「決審」で218点が金賞に選ばれた。県内の金賞受賞蔵元を見ると、記録の残る01酒造年

新酒鑑評会 全国5位



度以降で、「奥の松」で知られる東日本酒造協業組合(二本松市)が14回連続の金賞に輝いた。

本県は、新型コロナウイルス禍で最終審査が中止となった19酒造年度を挟み、9回連続(12〜21酒造年度)で日本一を達成していた。記録更新こそ逃したものの、若手の杜氏を含め本県で酒造りに携わる多くの人たちの熱意と技術は年々高まっており、「日本酒王国・福島」の実力を改めて全国に印象つけた。